

村の花・木・鳥



ヒメサユリ

ヒメサユリは、高郷村の山地に多く見られます。くきの長さは、50~90cmでピンクのかれんな花が6月上旬から下旬にかけて咲きます。

(昭和50年10月14日制定)



ケヤキ

ケヤキは、高郷村の山地に多く見られます。幹は、高く太く、良材になります。

(昭和50年10月14日制定)



ウグイス

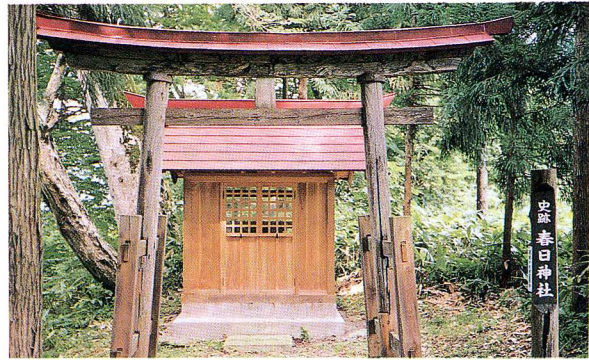
かわいい小鳥です。「ホーホケキョ」と鳴き春を知らせます。

(昭和60年10月11日制定)



村文化財指定第1号 木造阿弥陀如来坐像 (峯利田)江戸初期

県営荻野漕艇場 昭和27年の第7回国体は、福島、宮城、山形の三県にまたがって開かれ、この荻野漕艇場が漕艇競技の会場となり、「ボート、山に登る」といわれました。この時の漕艇競技では、福島県が優勝しました。



春日神社石祠 嘉永4年(1851年) 西海枝の瀬・利田の滝・大明神の瀬は阿賀川の難所でした。会津藩では、船を通すためにしばしば工事をしました。

嘉永4年に始まった工事は、越後水原の高田屋喜三郎が請負い、3年間かかって完成しました。

